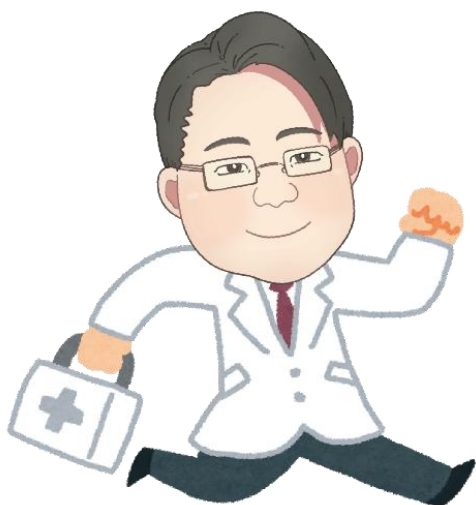




小久保 貴史/ Kokubo Takafumi

出身：埼玉県春日部市

趣味：ドライブ、神社仏閣お城めぐり、ウクレレ

動物歴：犬、猫現在は猫4匹（4歳～18歳まで）

経歴/Career

有限会社皆川獣医科医院

（アイ動物医療センターグループ）

経営企画室長、教育統括責任者

エム動物病院・アイペットクリニックつくば・

アイペットクリニック日立 勤務医

株式会社コジマ

病院管理部長、病院薬剤管理部長、

コジマ動物病院つくば 院長

AHB インターナショナル株式会社

（現イオンペット株式会社）

薬剤企画室長、久御山・新三郷・日の出病院 院長

【2023年4月～現在】

学校法人佐山学園 教務長

アジア動物医療リハビリテーションセンター 院長

猫と飼い主さんが、少しでも安心して暮らせるような情報をお届けします。

【コラムNo.65】猫の心と秋の空

こんにちは。獣医師の小久保です。

10月になりました。暑さが残る年もありますが、日が短くなり、季節の移り変わりを感じる頃です。「女心と秋の空」という言葉がありますが、今回はそこから「猫の心と秋の空」としてみました。猫と暮らしていると、さっきまで膝の上にいたのに急に離れていたり、呼んでも知らん顔をしたと思えば、向こうから甘えてきたりします。そんな姿を見ると、猫の心も秋の空のように変わりやすいように思えてきます。

でも、本当に猫は気まぐれなだけなのでしょうか。近年の研究では、猫は私たちが思っている以上に、人の声や言葉、日々の暮らしをよく見ていることがわかってきました。

2019 年の研究では、猫が自分の名前とほかの言葉を聞き分けていることが示されました。ただし、「これは自分の名前だ」と人と同じように理解しているというより、その音と食事や遊びなど、日常の出来事を結びつけて覚えていると考える方がよさそうです。呼んでも耳だけこちらへ向けて動かないことがあります、「わかっているけれど今は行かない」ということもありそうです。

猫にとっては匂いも大切な手がかりです。最近の研究では、猫は飼い主の匂いより知らない人の匂いを長く嗅ぎ、知っている人と知らない人を区別している可能性が示されています。また、離乳前に覚えた母猫の体臭を成猫になっても記憶していたという研究もあります。猫の記憶は「何年まで」と単純に区切れるものではなく、声や匂い、場所などを結びつけながら覚えているのでしょう。

2021 年の研究では、見えない場所にいる飼い主の声を聞かせたあと、別の場所から突然同じ声を聞かせると、猫が驚いたような反応を示しました。声を手がかりに「飼い主は今あそこにいる」と頭の中で位置を思い描いている可能性があります。ちなみに、こうした猫が人の声や名前をどこまで認識しているのかという研究には、日本から発表されたものも多くあります。身近な猫の行動が科学の対象になっているのも面白いところです。

時間についても、猫はかなり敏感です。もちろん時計を読んでいるわけではありませんが、明るさや食事の時間、人が起きる時間や帰宅する時間など、毎日の繰り返しを手がかりに生活しています。決まった時間になると食器の前で待つのも、単なる偶然ではないでしょう。猫には体内時計があり、私たちの生活もそのリズムを整える手がかりになっています。

では、猫は昔のことを懐かしんだり、一人になると人と同じように寂しいと思ったりするのでしょうか？2017 年の研究では、猫が一度経験した出来事の情報を利用できることが示されています。猫にも過去の出来事を覚えている力があるということです。ただし、「覚えていること」と「懐かしむこと」は同じではありません。人が昔を思い出して「あの頃はよかったな」と感じる懐かしさは、自分の過去を振り返り、そこに感情的な意味を重ねる複雑な心の働きです。今のところ、猫が人と同じように過去を振り返って懐かしんでいることを示す証拠はありません。

「寂しい」という感情についても同じです。飼い主と離れたときや、同居していた動物がいなくなったあとに、食欲や遊び、睡眠などが変化する猫は報告されています。しかし、それを人と同じ「寂しさ」や「悲しみ」と考えてよいかは、まだわかりません。「猫には悲しいという感情がない」と言い切るのも、「人と同じように悲しんでいる」と考えるのも、どちらも少し早いのだと思います。

「だめ」と言われたことを何度も繰り返す猫もいます。猫は経験から、その行動のあとに何が起こるかを学習します。それでも、目の前の食べ物や動くものへの興味が強ければ、それらを選ぶことがあります。「わかっているのにやっている」ように見えるのも、あながち間違いではないのかもしれない。

窓辺で外を眺めている猫を見ると、「外へ出たいのかな」と思うことがあります。しかし、外を眺めること自体が、鳥や虫、人の動きなどを楽しむ刺激になります。外を見ているからといって、必ずしも外へ出たいという意味ではありません。安全な室内から外の変化を眺めることも、大切な楽しみの一つです。

気まぐれに見える猫ですが、私たちの声を聞き、生活の流れを覚え、思っている以上に周囲をよく見えています。その一方で、その心を人の感情だけで説明しようとする、猫らしさを見失ってしまうこともあります。秋の空を眺めながら、「今、何を考えているのだろう？」と猫の横顔を少し観察してみるのも、秋の楽しみになるかもしれませんね。